

文化や伝統を大切にしようとする 心情をはぐくむ道徳指導の工夫

～ICTの効果的な活用を通して～

ねらい 「ICT」を効果的に活用することによって興味・関心を高め、「文化や伝統」をより深く理解させるとともに、それらを大切にしようとする心情を育てる。

教師の指導

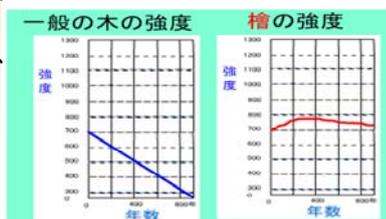
児童の活動の様子

ICT 機器

ICT活用
手だて①
動画・写真
グラフの提示

①導入で動画を見せ、展開で写真資料を次々と提示しながら発問を行い視覚的に分かりやすい授業を展開する。

②電子ボードの画面に集中し、興味をもって取り組んだ。
③視覚的に分かりやすいので、画像をもとに自分の考えをもつことができた。
④発問の答えを、電子ボード上に電子ペンで書くなど、コミュニケーションを取りながら授業に取り組んだ。



ICT活用
手だて②
文章資料
の提示

②先人の文化に対する思いを文章化して画面提示し、文化の素晴らしさや、守ることの大切さに共感させる。

③宮大工「西岡常一」さんの生き方や考え方を知り、文化や伝統の素晴らしさや守り続けることの大切さに共感することができた。

私は、千三百年前に建てられ、今も当時そのままの美しさをもつ法隆寺で、さまざまな先人の技と知恵を教わってきました。その技も考え方もとても素晴らしいもので、この後もずっと受け継がれていくべきだと思います。そこには、日本の文化と日本人が受け継いできた技と知恵がたまっているからです。

西岡 常一

他教科との
関連
手だて①
国語科・
社会科との
関連

③国語科→道徳→社会科という流れで、同じ「文化」という内容を関連させながら指導する。

④国語科「千年の釘にいどむ」で、1300年前に建てられた法隆寺について知るとともに、釘職人の生き方を通して文化や伝統を大切にすることに触れた。
↓
⑤道徳授業で、文化や伝統のために「私たちができること」を考え、文化や伝統を大切にしようとする心をもつことができた。
↓
⑥社会科で、日本の伝統的な工業技術を知り、それが現在にも引き継がれ、発展していることを理解することができた。

電子ボード・パソコン・プロジェクター

児童の変容



- ・道徳授業に集中して、楽しく取り組めたよ！
- ・「文化や伝統」のことがよく分かるようになったよ！
- ・「文化や伝統を守り、未来に伝えよう！」って思ったよ！
- ・他教科でも文化を勉強できたので、考えが深まったよ！

